



生産するうえでのこだわり

高品質な柑橘づくりを目指し、土・水・空気のバランスを保つ団粒構造の土づくりに取り組んでいます。堆肥は専門の業者に配合を依頼し、品質を確保しています。また、日々の草刈りや剪定等を通じて、樹体の健康維持に向けた工夫と試行錯誤を重ねています。さらに、当園ではトレーサビリティを導入し、生産から収穫までの管理を徹底することで、購入いただく皆さんに安心をお届けしています。



販売先・飲食店

肥後あゆみの会、生協、J A、食品卸売、ネット販売 (BASEなど)

消費者の皆さんへ

栽培は決して容易ではありませんが、研究と経験を重ねることで、みかんの持つ可能性を引き出せると信じています。これからも、特別栽培や有機栽培のおいしいみかんを選んでもらえるように、いい土づくりとおいしいものづくりを目指して頑張ります。

自己紹介

いまむら かずひろ

今村 和弘さん (宇城市)

令和元年に大学卒業後、祖父の代から始めた柑橘類の特別栽培を引き継ぎ、祖父母のもとに孫就農しました。令和4年に、市内で環境にやさしい農業を実践している「肥後あゆみの会」に入会し、有機栽培及び特別栽培 (化学肥料及び化学農薬の節減) に励んでいます。有機JAS認証取得 (うんしゅうみかんの一部)

生産品目

うんしゅうみかん、不知火、河内晩柑、スイートスプリング



苦労している点

草刈りに大変な手間がかかります。このため、カヤやワラを敷いて雑草を抑制し、機械で除草作業ができるよう園内道などの整備に努めています。堆肥やボカシ肥料は、化学肥料より成分が低く、施肥量が多くなることから、施肥作業は大変重労働となっています。ここ数年はイノシシによる食害が増えており、対策をしても被害が収まりません。

HP・SNS

今村和弘

